

2021年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

2021年度 事業報告書

公益財団法人 トトロのふるさと基金

1. 公益目的事業

1-1. 土地や文化財の取得事業

ナショナル・トラスト活動を推進するために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトロのふるさと基金への寄付

2021年度のとトロのふるさと基金への寄付は、511件、27,387,050円が寄せられ、基金の累計は総額989,560,303円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たに次の2か所のトラスト地を取得した。

- ・トトロの森56号地 1237.44㎡ 35,000,000円 2021年11月1日取得
- ・トトロの森57号地 4826.00㎡ 14,000,000円 2022年1月25日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動

地権者等への訪問及び連絡等を行った。以下、例示。

- ・東村山市多摩湖町一丁目7-2ほかの地権者等と打合せ(4月9日ほか)
- ・所沢市北野新町二丁目4-22ほかの地権者等と打合せ(11月28日ほか)
- ・瑞穂町箱根ヶ崎967の地権者等と打合せ(12月2日ほか)

(4) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会を2回開催した。

- ・第1回 2021年6月29日 東村山市多摩湖町の山林他 計6件の案件を検討
 - ・第2回 2022年2月9日 西埼玉中央病院周辺の山林他 計4件の案件を検討
- 次の案件については書面で意見を求めた。
- ・2021年12月7日 西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎字武蔵野の山林の取得について

1-2. 里山管理事業

1) 里山の管理の実践(里山部会事業)

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

4月28日～6月20日まで、7月20日～8月1日まで、1月21日～3月21日までのまん延防止等重点措置期間中は原則活動を中止とし、緊急事態宣言が発令された8月2日～9月30日までの活動も中止とした。

2号地、4号地、葛籠入の森(20号地)、猪入の森(23・35・36号地)、狭山湖北の森(22・29・38・53号地)、葛籠入の森(34・51号地)、39号地、43号地、芋窪の森(47号地)において、毎月第一日曜日と第三木曜日の定例活動日および臨時活動日に「とトロの森で何かし隊」(2022年3月末時点142名)のメンバーによる定期的な管理作業を行った。うち、2号地、芋窪の森(47号地)は協力団体と合同で管理作業を行った。2号地、チカタの森(3・15・48号地)、5号地、北野の谷戸(7・11・

16号地)、12号地、砂川の森(14・27・42号地)、17号地、葛籠入の森(20・21・34・51号地)、24号地、30号地、37号地、46号地、芋窪の森(47号地)は協力団体(2022年3月末時点17団体)による管理作業が行われた。活動回数は合計162回、参加延べ人数は1,165人となった。

その他、必要に応じて、チェーンソー等の動力機械を使用するトラスト地管理作業チームによる作業、業務委託による危険木・越境木の除去等を行った。

① 「トトロの森で何かし隊」の活動

a. コロナ対策として人数制限を設けながら、トラスト地の管理作業を以下の日程で行い、活動回数12回、参加延べ人数138人、平均参加人数は、休日定例作業15人、平日定例作業8人となった。

日	場所	内容	人数	全数
4月4日	47号地	笹刈り・ゴミの搬出	19	46
4月15日	22・29・38号地	ナラ枯れ対策、草抜き、ゴミの回収	10	11
5月9日	4号地	タケノコ掘り 他 ※コロナ中止	0	0
5月20日	2号地	残渣の搬出、草刈り ※コロナ中止	0	0
6月6日	20号地	キツタ・チヂミザサ等の抜き取り ※雨天中止	7	7
6月17日	2号地	残渣の搬出、草刈り	8	13
7月4日	17号地	蔓切り、草刈り、竹林整備 ※雨天中止	0	0
7月15日	38号地	残渣置き場新設・常緑樹伐採	7	7
10月3日	43号地	倒木・枯れ枝の片付け、常緑樹伐採 他	14	19
10月21日	4号地	草刈り・草抜き、枯れ枝・栗イガの片付け	9	9
11月7日	38号地	常緑樹の伐採、残渣置き場くい打ち 他	13	13
11月18日	39号地	常緑樹の刈り取り、伐採	8	8
12月5日	47号地	笹刈り、ゴミ拾い	13	30
12月16日	猪入	常緑樹の刈り取り、伐採	10	10
1月16日	53号地	枯れ枝の片付け、笹・常緑樹刈り取り	16	17
2月17日	猪入	常緑樹の伐採 ※コロナ中止	0	0
2月7日	—	※コロナ中止	0	0
2月23日	51号地	不法投棄ゴミの回収 ※コロナ中止	0	0
3月17日	47号地	ニセアカシアの伐採、笹刈り	4	9

※全数は合同作業時の協力団体等の参加人数を含めた人数

b. 少人数での臨時作業を以下の日程で行った。

日	場所	内容	人数	全数
5月9日	4号地	タケノコ掘り	6	6
11月26日	34・51号地	サンショウウオの産卵床作り	3	3

c. ボランティア登録説明会を4月18日、10月17日の計2回開催した。(計20人)

d. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

e. トラスト地の案内板の設置作業等を計2回おこなった。

f. 3月6日に交流会(意見交換会)を実施した。(24人)

② 協力団体によるトラスト地の管理作業

トラスト地の管理作業を以下の通り行い、活動回数 105 回、参加延べ人数 734 人となった。

- a. チカタ集いの会 (3 号地、15 号地、48 号地) 4 月 10 日ほか計 12 回
- b. リコーボランティアグループ (5 号地) 6 月 26 日ほか計 5 回
- c. 北野の谷戸の芽会 (7 号地、11 号地、16 号地) 詳細は 2-2 (1) 参照
- d. ゆめとこファーム (24 号地) 4 月 11 日ほか計 6 回
- e. 北中ネイチャークラブ (12 号地) 4 月 19 日ほか計 5 回
- f. 地域の自然を考える会 (12 号地) 11 月 29 日ほか計 3 回
- g. 26 緑の会 (12 号地) 6 月 22 日ほか計 7 回
- h. ふらっと 12 (12 号地) 4 月 8 日ほか計 12 回
- i. 砂川流域ネットワーク (14 号地、27 号地、42 号地) 8 月 27 日ほか計 5 回
- j. 17 号佐々木隊 (17 号地) 4 月 26 日ほか計 2 回
- k. 耕し隊 (2 号地) 4 月 12 日ほか計 6 回
- l. 30 号地入間隊 (30 号地、46 号地) 4 月 24 日ほか計 15 回
- m. 37 号地ネコバス隊 (37 号地、45 号地) 4 月 12 日ほか計 9 回
- n. 山田ファーム (20 号地、21 号地) 4 月 21 日ほか計 23 回
- o. となりの緑地を守り隊 (47 号地) 4 月 4 日ほか計 10 回
- p. 菩提樹田んぼの会 (19 号地) 12 月 18 日計 1 回

③ トラスト地管理作業チームによるトラスト地の管理作業

チェーンソー、刈払機等を使用した管理作業を以下の場所で、毎月 1~12 回、計 92 回おこなった。

チカタの森 (3・15・48 号地)、5 号地、猪入の森 (6・23・25・35・36 号地)、7 号地、8 号地、9 号地、10 号地、13 号地、砂川の森 (14 号地)、17 号地、18 号地、葛籠入の森 (21・26 号地)、狭山湖北の森 (22・29・38・50・53 号地)、24 号地、28 号地、37 号地、39 号地、芋窪の森 (40・47 号地)、泉の森 (44・54 号地)、49 号地

トトロの森 21 号地で萌芽更新のための伐採作業をおこなった。

④ 案内板の設置等

- a. 以下の場所の案内板の作成および新設作業をおこなった。
比良の丘 (13, 18, 49 号地)
- b. 以下の場所の案内板の修繕および再設置作業をおこなった。
4 号地、7 号地、19 号地、33 号地、43 号地、北野の谷戸

⑤ 地元ボランティア (協力団体以外) の協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行い、活動回数は 7 回、参加延べ人数 57 人となった。

日	場所	内容	人数
5 月 9 日	20 号地・水源地	所沢高校インターアクトクラブ レクチャーと笹刈り体験・植樹したアカマツの観察	10
8 月 7 日	20 号地	所沢高校インターアクトクラブ 笹刈り	4
11 月 13 日	20・31 号地	所沢高校インターアクトクラブ 草刈り・講習で伐採した常緑樹片付け	5
12 月 21 日	水源地	所沢高校インターアクトクラブ アカマツ植樹 (補植)	16
2 月 22 日	20 号地	所沢高校インターアクトクラブ 草刈り	8
3 月 31 日	20 号地	所沢高校インターアクトクラブ 笹刈り	5
1 月 8 日	14・27・42 号地	GFN・くずはき	9

※企業ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし。

⑥ 業者委託によるトラスト地の管理作業

a. 危険木・越境木の除去等のため、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
6月28,30日	13号地	隣接茶畑への越境木4本の剪定・伐採
1月28日～	13号地	住宅に倒れる恐れのある樹木の伐採
3月28～29日	56号地	住宅に倒れる恐れのあるナラ枯れ被害木6本伐採

b. 案内板の新設作業等を、業者に委託して以下の日程で行った。

日	場所	内容
2月18,22日	比良の丘(13・18・49)	案内板の新設

⑦ トラスト地管理作業チームによるトラスト地以外の里山管理活動

良好な里山景観の保全を目的に、トラスト地以外の山林や農地の管理作業を計7回行った。

日	場所	内容
5月11日	所沢市堀之内、入間市宮寺の農地	草刈り
5月14日	入間市宮寺の農地	草刈り
7月28日	所沢市堀之内の農地	草刈り
7月30日	所沢市堀之内の農地	草刈り
8月20日	入間市宮寺の農地	草刈り
8月24日	入間市宮寺の農地	草刈り
1月19日	所沢市堀之内の山林	落ち葉はき

(2) 講習会

① 石積み講習会

6月19,20日 伝統的な手作業の石積み工法について外部講師を招き学ぶ講習会を実施した。

② 里山管理技術講習会

10月31日 里山管理に必要な基本的な知識と道具の取り扱い方を学ぶ講習会を実施した。

③ 救急講習会

11月14日 野外での怪我・事故に備えた、予防法、応急処置法を学ぶ講習会を実施した。

(3) 助成金の申請

所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金を申請

国土緑化推進機構「緑の募金公募事業」へ申請

(4) 里山部会会議の開催

里山部会会議を11回開催した。

2) 北野の谷戸保全活動の推進(地域保全活動部会事業)

地域保全活動部会は、2010年度から始めた北野の谷戸保全活動を継続して実施した。復田した田んぼでの稲作、開墾した畑での畑作、トトロの森7号地、11号地、16号地の管理作業など、ボランティアグループ「北野の谷戸の芽会」のメンバーと地元の方々の協力を得て、北野の谷戸の里山環境保全作業に取り組んだ。

(1) 里山保全作業等の実施

4月25日(日) 水苗代作り、茶畑草刈り、たけのこ掘り、陸稲種まき

5月30日(日) 代掻き、里芋定植、7号地竹切

- 6月12日(土) 苗取り
- 6月13日(日) 田植え
- 7月15日(木) 11号地草刈り、畑草取り
- 8月1日(日) 畑・水田草刈り、ナラ枯れトラップ確認
- 9月26日(日) 畑草刈り、稲架かけ作り、陸稲収穫、物置修理
- 10月10日(日) 稲刈り、水田整備
- 11月3日(水) 脱穀
- 11月15日(月) 粃干し
- 12月5日(日) 16号地落ち葉溜め修復、畦修復、里芋収穫
- 12月10日(金) 粃摺り
- 1月16日(日) 16号地落ち葉溜め修復、常緑樹萌芽刈り取り
- 2月13日(日) 畑ナラガシワ伐採、16号地刈払い機での草刈り
- 3月14日(日) 落ち葉掃き、畑の整備
- 3月21日(日) チャノキ剪定、畦修復、水田看板設置

(2) 関係機関との連携協議

里山保全地域内のトラスト地にあるナラ枯れ木を市で伐採。

(3) 部会会議の開催

地域保全活動部会を3回開催した。

(4) その他

コロナウイルスの影響で、参加人数の制限をかけた活動の実施、または活動の中止。

米の収量は41kg

3) クロスケの家の活用と管理

「クロスケの家マスタープラン」のスケジュールに基づき、各部会・委員会等によって事業が進められた。また、教育機関や地域の団体等の学習の場としても活用された。

(1) クロスケの家基金

2021年度からクロスケの家基金は「トトロのふるさと基金」に統合された。

(2) 一般公開

団体見学者の月別内訳は下表の通りであった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	3	3	4	2	0	0	4	2	4	8	0	2	25
人数	17	9	77	6	0	0	55	56	51	15	0	19	305

※2020年2月25日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般公開を中止した。

・2021年6月より事前予約・有料ガイド付き特別開館を実施。

・6月三ヶ島小学校学区探検対応 ・11月30周年記念集会

(3) 文化財保護関連

・高橋南崖作の襖絵修理。森田堂

・シロアリ対策工事。

①北側雨漏り対策屋根のコーキング ②床下ホウ酸散布

(4) 蔵の活用

クロスケの家特別開館での会場として活用

(5) 整備及び管理作業

①敷地内樹木管理

蔵前のシラカシ剪定、シダレザクラ剪定

②バリアフリー対策として、車いす用折り畳み式アルミスロープを購入。

1-3. 狭山丘陵の価値を広く伝えるための普及啓発事業

狭山丘陵の自然やそこに息づく文化などに関する情報を発信し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に係る取材などに対して積極的に対応し、基金の活動への理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2021年度末の登録会員は1,232人で、内訳は正会員899人、家族会員162人、賛助会員42人、子ども会員114人、法人会員15社であった。前年度と比べ8人の増加であった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

支援者向け機関紙『トトロの森から』を会員・寄付者に向けて発行した。

第108号発行 6月30日

第109号発行 9月30日

第110号発行 1月31日

第101号発行 3月31日

子ども会員ニュースターを子ども会員に向けて発行した。

第6号発行 3月31日

第7号発行 9月16日

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施

例年、企業の協力を得てトラスト地の維持管理作業に取り組んでいるが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

(4) ホームページの更新と運営

公式ホームページでは、イベントやボランティア情報などを定期的に更新し、閲覧状況の分析を行った。また、公式フェイスブックを運用し、若年層へのPRに努めた。

公式動画を作成、Youtubeでの公開を開始した。

ホームページリニューアルにむけて180Degrees Consulting Japanの協力を得て問題点の抽出、構造やデザインの検討をおこなった。

(5) 一般への広報活動

- ・トトロの森とクロスケの家ガイドツアー 12月5日、1月22日(中止)、3月12日
- ・クロスケの家イベント(どんぐりトトロづくり) ※コロナ対策のため中止
- ・トトロの森の散策会 ※コロナ対策のため中止
- ・イオン入間店でのイエローレシートキャンペーンへの参加 ※店頭活動は中止

(6) 狭山丘陵フェアへの参加協力

狭山丘陵フェア実行委員会への参加 1回(7月2日)

狭山丘陵フィールドシンポジウム 11月3日

団体紹介パネル展示、狭山丘陵紹介動画への協力

当日出展・イベント実施: トトロの森紹介展示&トトロの森ガイドツアー

1-4. 里山の保全に関する環境教育の実施(環境教育部会事業)

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。また、狭山丘陵の自然・歴史に関する資料集のまとめ作業を行った。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとした取り組みと、トトロの森及びクロス

ケの家をフィールドとした取り組みを行った。

- (1) 狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業
2021年度の指定管理業務事業報告書（別紙）
- (2) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力
 - ① クロスケの家において総合的な学習の時間等への協力を行った。
10月5日 子ども地域ネットワーク所沢「まちづくり実行委員会」（所沢高校）・取材
11月16日 三ヶ島小学校2年生・学区探検
 - ② いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。
- (3) 環境教育に関する講座・学習会
年中行事の再現をおこなった。
9月12日～ 十五夜飾り
12月23日 しめ縄飾りづくり
1月15日 小正月・繭玉飾りづくり
2月3日 節分・柊翹
2月20日～ 雛人形飾り
狭山丘陵の保全の歴史を学ぶ散策会をおこなった。
3月13日 狭山丘陵いまむかし（椿峰・雑魚入）
- (4) バリアフリー・プロジェクト
7月17日 ホテル観察会の下見 所沢市聴覚障害者協会の協力
- (5) 環境教育部会会議の開催
環境教育部会会議を7回開催した。

1-5. 狭山丘陵における自然環境等に関する調査及び情報収集事業

1) 里山の自然環境に関する調査・研究（調査部会事業）

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行い、生物多様性等に係る価値の把握に努めた。また、トラスト地の適切な管理方針策定のための提言を行った。

- (1) 狭山丘陵の自然環境調査の実施
 - ① トラスト地とその周辺の土壌・動植物調査等を18回行った
 - ② トラスト地で複数回ナラ枯れ状況調査を行った
- (2) 講座・勉強会
 - ① 植生調査勉強会を1回開催
 - ② モニタリングサイト1000全国フォーラムにオンラインで参加
- (3) 調査部会の開催
調査部会を、4回開催
- (4) 自然環境調査報告書等の発行・協力
 - ① 自然環境調査報告書第16集を発行
 - ② 三ヶ島A湿地における希少昆虫スゲハムシ確認報告発行の協力
 - ③ 埼玉県生物多様性保全活動団体として、埼玉県に活動を報告
- (5) 管理方針の提案
29・38、50、53号地一帯と52号地の管理方針の提案

2) 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体

との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

(1) 関係自治体、企業等との協議

- ① 菩提樹池と周辺緑地に係る連絡会議に出席（4月26日 中止）
- ② 所沢市みどりの審議会に委員として出席（11月11日、2月4日 書面による開催）、その他書面による採決
- ③ 野山北・六道山公園管理運営協議会に出席（6月5日、9月11日、3月5日 いずれも中止、資料送付のみ）
- ④ 狭山丘陵広域連絡会に出席（1月 書面による開催）
- ⑤ さいたま緑の森博物館保全活用協議会協働作業に出席（11月27日）
- ⑥ 早稲田大学所沢校地B地区自然環境 評価委員会に出席（11月29日）
- ⑦ 小手指ヶ原公園に関する打合せに出席（10月7日）
- ⑧ 狭山3公園管理運営協議会及び多様性事業連絡会に出席（7月31日 書面による開催）
- ⑨ 所沢市に砂川散策路整備に関する要望書提出（2月28日）

(2) 葛籠入湿地及び水源地に対する取り組み

- ① 所沢市と協議し、トトロの森・葛籠入湿地水源地管理計画の作成
- ② 水源地でのアカマツ・コナラ林再生の取り組み
アカマツ苗の育成、所沢西高校によるコナラ苗の育成
所沢高校の学生とアカマツの植樹（12月21日）

(3) 早稲田大学オリンピック招致に伴う陸上競技場照明問題に対する取り組み

早稲田大学所沢校地陸上競技場照明施設環境影響評価業務における調査の協力
(協力回数：53回)

1-6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人としての適切な運営のために、理事会、評議員会を開催した。また、執行部会議等を開催して的確で迅速な意思決定を行うとともに、財政等に係る課題の検討を進めた。

トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するため、2018年から取り組んでいた長期構想（2020～2030年）をとりまとめ、「都市のコモンズを育む ナショナル・トラスト運動の新しい地平へ 発足当初の想いを受け継ぐ人を育て、受け渡す」を刊行した。また、30周年記念集会を開催した。

ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体からの照会・相談等への対応を行ったほか、様々なメディアからの取材等への対応、丘陵案内やシンポジウムへの参加などを実施した。

その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行うとともに、各種助成金等の確保に取り組んだ。

(1) 理事会及び評議員会の開催

理事会：通常理事会2回（5月23日、3月20日）

臨時理事会3回（6月13日、10月24日、1月23日）

評議員会：定時評議員会1回（6月13日）

(2) 執行部会議の開催（3回）

5月16日、12月21日、2月19日

(3) 常任理事会の開催（12回）

4月25日、5月30日、6月27日、7月25日、8月29日、10月3日、10月31日、11月28日、12月26日、1月23日、2月27日、3月27日

(4) トトロのふるさと基金長期構想（2020～2030年）の作成

トラスト地の拡大や基金をとりまく環境の変化に伴い生じている様々な課題に対処するための長期構想検討ワーキンググループを立ち上げ、オンラインシンポジウムを1回、検討会（WG）及びアドバイザリーボード（AB）の意見聴取等を1回開催し、「都市のコモンズを育む ナショナル・トラスト運動の新しい地平へ 発足当初の想いを受け継ぐ人を育て、受け渡す」を刊行した。

7月3日（オンラインシンポジウム「ナショナル・トラスト法をどうつくるか？」）

9月26日（AB/WG 検討会）

(5) 30周年記念集会「トトロのふるさと基金30年の歩みとこれからの10年」開催

トトロのふるさと基金の運動の30年に及ぶ活動を振り返りつつ、2030年までの次の10年に向けた長期構想の発表を、オンラインとクロスケの家を会場として開催した。

11月23日 参加者：クロスケの家43名・オンライン55名

(6) 照会、相談等への対応及び活動広報等

基金の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

① 講演

7月 生涯学習センター 講座

12月 埼玉大学基盤教育研究センター 講座

1月 いきものふれあいの里センター 狭山丘陵講座「保全活動を支える市民の力」

ところざわ地域の自然グループ・GFN カタクリ群落の下刈と落葉掃き

卒業研究対応

- ・麻布大学生命・環境科学部の学生1名
- ・駒澤大学文学部地理学科地域環境研究専攻の学生1名
- ・早稲田大学野生動物生態学研究室の学生1名

② 取材等への対応

5月（全国各種団体名鑑、るるぶ観光データベース、さいたま民族文化研究所「所沢—不思議—魅力発見」）、6月（KADOKAWA「所沢ウォーカー」）、7月（テレビ東京「出没！アド街ック天国」）、9月（テレビ埼玉「みどり生きもの学習コンテンツ」埼玉県作成）、10月（アテネ株式会社/東京書籍「デジタル教科書中学理科」「doug pocket ver:中学理科」）、12月（NAVITIME Travel）、1月（るるぶ埼玉、「川越秩父深谷鉄道博物館22 狭山丘陵を歩こう」）、2月（朝日新聞）

③ 教材等への写真等の提供

埼玉県「みどり生きもの学習コンテンツ」

東京書籍「デジタル教科書中学理科」「doug pocket ver:中学理科」

株式会社日本入試センター「カードゲームで学ぶ生物多様性」・「サピックス eco クラブ5年」

④ 丘陵案内

4月（丘陵散策会 2回〈雑魚入/貉入と菩提樹池周辺〉）

10月（アテネ株式会社 丘陵案内）

12月 丘陵散策会（丘陵縦断）

(7) 助成金の申請

キャリアアップ助成金（厚生労働省）、雇用調整助成金（厚生労働省）、緊急雇用安定助成金（厚生労働省）の申請を行った。

2. 収益事業の実施

トトロファングッズ等の企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

① 収益事業検討会の開催（3回・5月11日、8月4日、2月1日）

② イベント等でのグッズ販売、外部委託販売

※新型コロナウイルス感染防止対策のためイベント等販売は中止

・秋期、協力者による出張販売（菩提樹田んぼの会、山口の自然に親しむ会、山口地区）があった。

③ 2022 年度新商品の企画、商品化

長袖 T シャツ（黒・白）

レターセット（おてがみトトロ）

④ オンラインショップ TOTORO FUND SHOP の更新・運用を行った。

⑤ 所沢市、東大和市の職員向け販売をおこなった。

⑥ 夏季きょうされんカタログ販売事業においてネックストラップ、エコバッグを、冬季は長袖 T シャツ（黒）を取扱いアイテムとした。

以上

2021年度
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理業務に係る事業報告書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
指定管理者 公益財団法人 トトロのふるさと基金

(様式1)

2021年度事業報告書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、自然観察会等の実施や館内展示、教育機関への環境教育支援などを行った。

また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の指示を受けて、イベント中止や感染拡大防止のための取り組みを行った。

- ・イベント中止期間 2021年4月28日～6月18日
- ・駐車場閉鎖期間 2021年5月11日～6月21日

2021年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

表1 2021年度の新たな取り組み、充実点について

取り組み	実施内容
新型コロナ関連の取り組み	<ul style="list-style-type: none">・彩の国「新しい生活様式」安全宣言に則した施設の運営。・在宅でもイベントに参加できる『Zoom』や『YouTube』を活用。(新規)・出入口に自動検温機を設置。(新規)
イベント	<ul style="list-style-type: none">・小学生と保護者を対象に『初めての自然観察会』を実施した。(新規)・外部講師を招き専門性が高い観察会を実施した。
管理作業	<ul style="list-style-type: none">・経年劣化した解説看板の盤面3枚の掲示内容を作成。(新規)・経年劣化した指導標の盤面40枚を作成。(新規)・全ての解説看板や指導標に設置する地点番号板134枚を作成(新規)・駐車場案内看板、案内シートを設置。(新規)・センターエリアの柵や杭を46箇所修繕。・火遊びなど悪戯が続いた東屋ベンチの修理や防犯カメラの設置。
配布物	<ul style="list-style-type: none">・各管理地を網羅したウォーキング地図の作成。
その他	<ul style="list-style-type: none">・カシノナガキクイムシの防除のためのキンチョールEの注入実験の協力。・カシノナガキクイムシ飛散防止対策。・ナラ枯れ防止のための薬注実施。

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、彩の国「新しい生活様式」安全宣言を順守し施設運営を行った。また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の指示を受けて、在宅でもイベントに参加出来るよう、電子会議ツール『Zoom』や『YouTube』の活用に取り組んだ。主な取り組みを表 2 にまとめた。

表 2 主な新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施状況

主な取り組み	内 容
基本事項	<ul style="list-style-type: none">・ポスターや園内巡視による密集・密接の防止。・咳エチケットやマスク等の着用等をポスターや看板、ホームページにより周知。・イベント定員の縮小。・講義室収容人数の縮小。
飛沫感染リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none">・窓口や館内テーブルに透明アクリル板の設置
接触感染リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none">・玄関に自動検温機を設置。(新規)・手洗い啓発チラシの掲示。・出入口に消毒液を設置。・1日2回の館内消毒の実施。・施設出入口の常時開放。・講義室、事務所の常時換気。
職員の衛生対策	<ul style="list-style-type: none">・職員の出勤前の体温計測。・職員のマスク着用。・植物画講座などではシリコン手袋を装着。
イベントや展示	<ul style="list-style-type: none">・Zoom や YouTube を活用したイベント。(新規)・イベント定員の縮小。・動画などで情報を発信。・触れる展示の縮小。

(2) 自然観察会等の実施

表3 イベント実施状況

イベント名	内 容	参加人数	回数
【新規】 初めての自然観察会	小学生と保護者を対象にした入門的な観察会を実施した。	49	5
狭山丘陵講座（新規）	狭山丘陵に関する自然環境保全の歴史やナラ枯れ対策セミナーを実施した。	63	2
基礎から学ぶ植物画講座	草花を画用紙に再現することで、植物の生態への理解を深める講座を行った。	154	13
植物画講座中級編	基礎から学ぶ植物講座の中級編講座を行った。	123	13
狭山丘陵自然観察会	狭山丘陵の自然への理解を深めるために、一部、専門家を招いて実施した。	68	6
地域公共施設との連携イベント	地域の図書館や公民館とイベントを共催して行った。	2,052	9
里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を体験する講座を行った。	49	4
いきふれボランティア募集・養成講座	ボランティア募集の説明会と養成講座を実施した。	15	3
狭山丘陵出前センター	文化祭やお祭などに出張して狭山丘陵に関する展示を行った。	1,122	4
ガイドウォーク	申込なしで当日参加出来る観察会を行った。	185	22
環境教育活動の支援	教育機関からの依頼に応じ、環境教育活動への協力や支援を行った。	1,699	21
狭山丘陵ミニトーク	団体来訪者からの依頼に応じ、パワーポイントや動画を使って解説を行った。	11	1

※延べ：103回 5,590名 新型コロナウイルス対策のため計6回中止

①自然観察会等のイベント実施

新規企画として、『初めての自然観察会』と『狭山丘陵講座』を行った。

『初めての自然観察会』は、小学生とその保護者を対象に虫や惑星、いきものをテーマに、外部講師を招き実施した。『狭山丘陵講座』では、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、『Zoom』や『YouTube』を活用しながら、WEB と会場での同時実施を行った。取り扱ったテーマは、『狭山丘陵の自然保護』や『ナラ枯れ対策 カシノナガキクイムシの防除』について取り上げた。

また、定例のイベントとして『狭山丘陵自然観察会』や『地域公共施設との連携イベント』、『環境教育活動の支援』などを実施した。

イベント実施状況は表 3 に、主な狭山丘陵講演会は表 4 に示した。

表 4 狭山丘陵講座 実施状況

イベント名	実施日	参加者	実施内容
保全活動を支える市民の力	1/29	19	当基金荻野による、狭山丘陵の変遷と自然保護の課題を講演。
皆さんの疑問にお答え！木の病気ナラ枯れセミナー	2/25	44	都立狭山公園との共催企画として実施。ナラ枯れの現状やその対策について講演を行った。

②団体利用者への自然解説ならびに環境教育支援の実施

幼稚園や保育園、小学校、中学校、大学、一般団体などの利用及び施設見学者に対し、センターエリアのガイドやレクチャーなどを行った。特に、小中学校へはワークシートを使った観察会や学校への職員派遣を行った。小中学校や大学への環境教育支援については、表 5 に示した。

表 5 団体利用対応受入状況

区分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高校 大学等	一般	合計
利用回数	38 回	18 回	1 回	50 回	107 回
利用者数	643 名	1,804 名	3 名	1,751 名	4,201 名

③インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を育成するためインターン生を受け入れた。(表 6)

表 6 インターン生受け入れ実施状況

学校名	実施日	人数	内容
麻布大学	5/11～3/4	1名	卒論指導：里山管理の意識調査など
東京農業大学	7/28～8/1	2名	イベントの補助や館内解説、展示物作成、Facebook を使った情報発信など
埼玉大学	10/29～1/26	4名	公園管理やイベントの補助、Facebook を使った情報発信など

(3) 展示、解説について

①展示について

狭山丘陵の身近な生き物を紹介する『狭山丘陵のカエル展』を実施した。また、『カブトムシ展』や『カイク展』など季節に応じた生態展示を7回、映像を使った展示を4回行った。地域公共施設との連携では、所沢市役所や所沢図書館とも展示を行った。

②館内解説の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止措置を講じながら、自然情報の説明やウォーキング地図の提供等を行った。詳細を表7にまとめた。

表7 利用者への情報提供人数

内 容	人 数
自然情報、イベント案内、周辺案内、自然一般の相談など	2,304 人

(4) 広報活動

①情報提供

彩の国だよりや市報、雑誌やミニコミ誌等にイベントや自然情報の提供を行った。また、FM 茶笛(コミュニティーFM)に、毎月電話出演し自然情報等の発信に努めた。

マスコミへの出演や取材協力、掲載実績等の実施状況は以下の表8のとおりである。

表8-1 マスコミへの出演、取材協力

種別	番組名	回数	内 容
ラジオ	FM 茶笛(77.7MHz) とれたてラジオ	12 回	毎月第二木曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	FM 茶笛(77.7MHz) お出かけステーション	5 回	土曜日センターの自然情報や見所案内、イベント情報を放送。
	NHKFM(85.1 MHz) さいたま〜ず	1 回	狭山丘陵の自然情報やイベント応報

※延べ 出演回数:18 回

表8-2 新聞や各種情報紙への掲載実績

冊 子	発行地域	形態	発行団体	掲載回数
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12 回
西埼玉ぱど	西埼玉	冊子	株式会社西埼玉ぱど	11 回
武州路	埼玉県	雑誌	株式会社富士フィルム	6 回
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	5 回
毎日新聞	全国	新聞	株式会社毎日新聞社	3 回
東京新聞	関東	新聞	株式会社中日新聞社	1 回
るるぶ埼玉'23	全国	冊子	株式会社 JTB パブリッシング	1 回
地球の歩き方 日本	全国	冊子	株式会社学研プラス	1 回

所沢市おさんぽナビ	所沢市	冊子	所沢市	1回
地球の歩き方 埼玉	全国	冊子	株式会社学研プラス	1回
ナビタイムジャパン	全国	WEB	株式会社ナビタイムジャパン	1回

※延べ 掲載回数:43回

表 8-3 マスコミ等への情報提供

マスコミ紙	回数	内 容
西埼玉ぱど	12回	イベント募集のお知らせ
毎日新聞	3回	自然情報やイベント情報
東京新聞	2回	図書館との取り組み
朝日新聞	2回	図書館との取り組み
NHK さいたま	1回	イベントの紹介

※延べ 20回

表 8-4 イベントチラシの作成実績

チラシ	数量	内 容
年間観察会チラシ(A5)	3,000枚	自然観察会を周知するために、県内外に広く配布。

②広報紙等の発行と配布

「いきふれ通信」を年4回計7,000部発行し、所沢市内全ての小学校と図書館、主な埼玉県内の博物館や資料館、首都圏の関連自然施設等63箇所に配布した。

③センターホームページの運営

イベントの予定や実施状況などを知っていただくため、ホームページや Facebook の運営を行った。また、ホームページ改ざん防止のため、システムの脆弱性の対応や安全性の確保のため、基本ソフトの定期更新や管理などに努めた。ホームページの更新回数は表 9、閲覧状況は表 10 のとおりである。

表 9 ホームページ更新

内 容	更新回数
自然情報、イベント予定・報告、ボランティア活動報告など	208回

表 10 ホームページへの閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間閲覧数	3,592	4,489	3,578	4,420	3,841	2,994	2,685	2,495	2,023	2,452	2,315	2,424

※累計 37,308回

(5) 関係団体との協働

① 埼玉県狭山丘陵いきふれの会

ボランティアの募集説明会や養成講座を開催し、今期新たに4名が会員に加わり、全登録者は28名となった。センター管理地の各スポットエリアを中心に、年間を通して定期的な巡回や行事補助、自然情報の収集に協力頂いた。

表 11 ボランティアとの活動実施状況

主な活動分野	実施回数	参加者	主な内容
巡回・情報収集	8回	39名	各スポットの巡回や自然情報の収集
行事補助	16回	30名	自然観察会など
研修会	3回	16名	自然観察会の勉強会

※(全体会議、その他)7回70名 延べ活動数:34回 延べ人数:155名

② 「堅香子の会」や「ふれ炭会」との協力

- ・堅香子の会:植物画講座への講師派遣や植物画の原画借用協力を頂いた。
- ・ふれ炭会:管理地の維持管理協力や伐材の有効利用などに協力頂いた。

③ 地域の企業や市町村、自然ふれあい施設等との連携

入間市役所や早稲田大学自然環境調査室へ講師派遣やイベント協力の依頼を行った。また、狭山丘陵観光連携事業推進協議会や狭山丘陵フェア実行委員会、都立生物多様性事業連絡会に参加し、都立公園やさいたま緑の森博物や関係市町村との情報交換を行った。

(6) 運営協議会の開催

当センターの円滑な管理運営の推進と、施設の有効活用を図るために、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会を12月と3月に開催した。

- ・協議会委員:学識経験者、地域団体及びセンターボランティア団体の代表者、地元学校長等 計9名
- ・協議事項:事業実施状況、自主事業へのアドバイス、管理運営の方向性等について

(7) 施設の維持管理

① 保守点検業務

施設の維持管理(夜間警備や空調設備、消防設備の保守点検、施設の清掃)については、それぞれの専門業者に委託することにより適正な管理を行った。

② 地震や火災などの対策

全職員参加の通報訓練や消火訓練、避難訓練を行った。また、緊急時の対応マニュアルを読み合わせ、机上での模擬訓練を行った。

③ 園地管理

日常的に管理地内を巡回し、定期的な草刈りや植栽木の剪定、樹木の伐採(緊急性の高い危険木)、劣化木柵の交換、階段ステップの修繕、解説看板の修繕などを行った。また、卓上ベンチへのイタズラが続いた北東屋には、警察への相談や注意看板、ダミーライブカメラを設置した。主な実績は表12のとおりである。

表 12 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	ダミーカメラ	1 台	北東屋に設置。
	杭と横木(木柵)	47 本	破損柵を交換。
	盤面更新	1 基	解説看板の盤面を更新。
	竹柵	8m	学習の森の園路柵。
スポット3	盤面更新	2 基	解説看板の盤面を更新。
スポット2	盤面更新	1 基	解説看板の盤面を更新。
全スポット	地点番号	134 枚	解説板や指導標に地点番号
スポット 1～3	指導標盤面	40 枚	指導標盤面を更新。
狭山湖周辺	指導標	1 基	倒壊指導標を更新

(8) 災害時等の緊急時の対応

大型の台風接近の際は、施設玄関付近への土嚢の設置や園路上空の掛かり枝の除去などを実施した。また、緊急対応に備え、関係機関への事前連絡やチェンソーなどの備品の用意を行った。台風通過後は、速やかに施設と管理地を巡回し園路通行の情報収集と安全確保に努めた。園路情報は、ホームページを通じて周知を図った。

(9) その他の自主事業

① 頒布物について

狭山丘陵の自然の素晴らしさを伝えるため、「狭山丘陵いきものふれあいの里の植物」や「野鳥ハンドブック 水辺編、里山編」、「植物画ハガキ」、「植物画一筆箋」、「シダ植物ポケット図鑑」の頒布などを行った。

② 萌芽更新完了後の追跡調査

身近なみどり保全創出事業にて所沢市が実施したセンターエリアの萌芽更新地区の植生調査を8回行い、115種(草本38種、木本74種、シダ3種)を記録した。結果を管理作業の参考にするために、所沢市みどり自然課へ報告を行った。

傾向として、樹の成長に伴い、草本が減り、好光性の木本の淘汰も始まっている。

③ ナラ枯れ防止のための取り組み

カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって引き起こされるコナラのナラ枯れが狭山丘陵で広がりを見せている。早期に対応を図るために、カシノナガキクイムシの捕獲と被害調査、一般周知のためのセミナーを実施した。特にセミナーでは、都立狭山公園と共催し、丘陵全体の被害状況と今後の取り組みなどを関係市町の担当者を招き実施した。主な実績は表13のとおりである。

表 13 取り組み内容

場 所	項 目	数 量	内 容
センターエリア	カシノナガキクイムシ 捕獲実験	3 基	飛翔時期を確認。
	ナガ枯れ伐採木への ビニール被覆	20 箇所	カシノナガキクイムシ飛散 防止のため実施。
	ナラ枯れセミナー	1 回	拡大防止策等の講習
各 管 理 地	ナラ枯れ被害木調査	6 箇所	各管理地にてナラ枯れ確認

2 施設の利用状況

① 利用者別利用状況

区分	大人			小人(中学生以下)			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	10,260	5,154	15,414	2,792	2,786	5,578	20,992

② 施設有料利用状況（利用施設区分別）

区 分	講義室	展示室
利用件数	4 件	0 件
利用者数	70 人	0 人